

# 2005 年度山谷夜回りの会活動報告

2006/4/3  
文責 村井

## 1 はじめに

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元に送らせていただきます。

当会は 2002 年度まで、フランススコ会中谷神父主催の『山里の家』の炊き出しグループとして活動してまいりましたが、中谷師の体力的な問題などの事情によって 2003 年度より『山谷夜回りの会』として活動を始めました。

今年度も山谷を取り巻く環境、私たちの支援活動の置かれた状況にはさまざまな変化がありました。その中で試行錯誤を続けつつも、何とか炊き出し・夜回りを継続することができました。

これも全て皆さまからいただきましたお祈りと、さまざまなご支援のおかげでございます。どうもありがとうございます。来年度からもどうぞよろしくお願いいたします。

簡単ながら今年一年間の活動の様子をご報告させていただきたいと思っております。

## 2 アパート移行事業と夜回り形式への変更

2005 年度は、山谷にも本格的に東京都などのホームレス地域生活移行支援事業の影響が表れてまいりました。地域生活移行支援事業とは、非常に大まかに申しますと特定の公園の中でブルーテント生活をしておられる方たちのうちで希望者を募って、東京都がアパートを借り上げ、そこに住んでいただく期間中に、お仕事を探していただくという仕組みでございます。

事業の詳細は [http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/press\\_reles/2004/pr0216.htm](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/press_reles/2004/pr0216.htm)、などをご覧ください。

山谷地域では墨田川沿いの公園部分にお住まいの方たちがこの東京都の事業の対象者となりました。現状といたしましては、かなりの数の浅草近辺から桜橋間のブルーテントがなくなっております。ただし、いろいろとお話をうかがってみますと、なくなったブルーテントにお住まいだった方たちが皆さんアパートに移れたということではないようです。この地域におきましては、ブルーテント撤去の強化・再設置を防ぐ警備員等の配置と移行支援事業がどうも同時に行われていたようです。そのため、多くの方がアパートで仕事を探せるようになった反面、ブルーテントがないものの桜橋周辺や川沿いに夜だけ寝る場所を求めて集まる方たちも増やすという結果にもなっているようです。ブルーテントの新規設置が困難になった分だけこの方たちにとっての状況はむしろ悪化したといえるかもしれません。アパート移行事業自体には大変良い面があるだけに残念でございます。

昨年度まで当会は白鬚橋近辺で炊き出しを行ってまいりましたが、春になり桜橋・浅草周辺からたくさんの方たちが居場所をなくして白鬚橋周辺にも移ってこられました。その影響もあって、白鬚橋で一箇所に集まっていたいで炊き出しを継続するのは困難になりました。そこでわたしたちがおむすび・衣類・日用品を持参して墨田川沿いと山谷地域のアーケード下や公園を巡るといった活動形式に変更することとなりました。

夜回り形式にすることで、皆様の生活の様子が以前よりもよく分かるようになり、白鬚橋まで来ていただくのが困難な方にもおむすびをお届けできるなどの良い面も多々ございました。ただ衣類等の運搬に関してはやはりいくつかの問題点がございました。この点についてはまた衣類に関しての項で述べさせていただきます。

現状といたしましては、アパート移行事業により川沿い地域での自活能力の高い方々が少なくなった反面、そうではない方たちが以前よりも悪い状態に取り残されていること、撤去の強化による半強制的移動が新たな問題ではないでしょうか。このような現状の中でどのような支援活動を行っていきけるのか、これが 2006 年度の課題であると考えます。

### 3 おむすび

炊き出し・夜回り活動においてもっとも重要なおむすびですが、3年目に入りかなり安定して供給できる状態になってきております。定期的に大量のお米をご寄付くださる支援者の方、手作りの梅干をお届けくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援の中でカトリック町田・松戸両教会の皆さまを中心にたくさんの方が毎回心のこもったおむすびを作ってくださいます。お米に換算して、2005年度総計では約780kg分のおむすびをお配りすることが出来ました。

いただいた乾パンなどもお配りすることがございますが、やはり皆さまおむすびを一番喜ばれます。ご寄付でいただきますその他の食材もその時々でお配りいたしますが、今後もおむすびを中心に配りてまいりたいと考えております。

今年度は、おむすびができてからお配りするまでの間の夏場の保存対策といたしまして、発泡スチロールにアイスノンを入れ、その中でおむすびを保存することといたしました。例年夏場は傷むのが心配で梅干の量や塩分を増やす、籠に入れて扇風機で風を送るなどの対策をとっていましたが、かなり改善されたのではないかと思います。

ありがたいことに今まで一度も衛生面での問題は起きたことがございませんが、食事をお配りする以上は今後も細心の注意を払ってまいりたいと思います。

### 4 衣類・日用品

2004年度まで白鬚橋の一箇所で集中的にお配りしていた衣類・日用品ですが、2005年度から移動しながらお配りする形に変更いたしました。山谷までの運搬は通常は車3台、量により4台で行ってございました。夏場は特に問題ないのですが、冬場は毛布やジャンパー類などかさむものが多く、各ボランティア宅での保管、山谷までの車での運搬、山谷での墨田川沿い・いろは方面それぞれでのボランティアの人手による運搬、どれをとっても課題山積の状態でごございました。

このように保管・運搬・配布等に関しては問題点が残りましたが、2005年度は昨年度の倍近くのご寄付をいただき、おかげさまで毛布を大幅に増量でき、2004年度不足して問題になっておりましたズボン下に関しても、安いお店を探して購入するという形で改善することができました。衣類・日用品の全体といたしましては良い傾向にあるとは言えると思います。

2005年度で不足していたものとしましては、ジャンパー・セーター、ヒゲソリ、防寒用の帽子などがあげられます。ヒゲソリと帽子に関しましては、百円ショップなどでの購入が可能なため様子を見つつ量を増やしていくことを考えております。ただし、ジャンパー・セーター等に関しましては購入してお配りするのは金額的に困難ですのご寄付頼みということになります。山谷では通常よりも早く、9月の末ごろには冬支度が始まりますのでそれまでになんとかジャンパー・セーターを集められるよう方策を検討してまいりたいと思います。

冬を乗り切るのに必須となる毛布・防寒着類をどこからお配りするかを決めるのは大変難しいことではありますが、当会での一応の方針といたしましては、自活能力の高い方よりも低い方を優先することを念頭においておりました。具体的な基準といたしましてはブルーテントを建てて維持する能力のある方よりも、段ボールを一枚敷いて毛布に包まってお休みの方たちを優先するということになります。地域といたしましては、いろは商店街と隣の道路沿い、桜橋テラス周辺になります。

いろは方面での配布には大きな問題はなかったのですが、川沿いの方たちは日没と共にお休みになるケースが多く、川沿い方面に行くボランティアのグループは早めに出発する必要がございます。そのため仕事帰りで参加するボランティアはこちらに参加できず、結果的に人数が少なくなり、少ない人手で運ぶためにお配りできるものの量自体も少なくなってしまいます。来年度は桜橋テラス周辺でも生活必需品を一層充実してお配りできるために、毛布などを後から合流したボランティアが車で運ぶなどの案も検討してまいります。

## 5 ボランティアとメディア

今年度の夜回りですが、冬に入って以来たくさんの方がきて下さるようになりました。内訳としましては大和カルヴァリーチャペルの青年会の皆さん、カトリック板橋教会を中心にした中高生会青年リーダー会の皆さん、また新聞で当会の活動をご覧になった皆さんがいらっしゃいます。人手がもっとも不足する冬の時期にいらしていただき、まさに天からの恵みと感謝しております。

来ていただいた皆さんが全員、山谷という地域が抱えている問題と継続的に関わり続けていくことはなかなか難しいことではあるとは存じておりますが、たとえ一度であっても実際に山谷の現状に触れていただくことで、この問題に対する理解者を増やしていくことも当会の一つの役割ではないかと考えてございます。

今年度はたまたま新聞の取材がございましたが、それ以外にも当会のホームページなどを通じて現代の社会が抱える現実を言葉としてお伝えし、またボランティアに来ていただいた方たちには実際に手で触れた体験として知っていただければと思っております。

## 6 活動日

現在第1・第3木曜日を基本としております活動日ですが、第1木曜日はお正月やゴールデンウィークなどのお休みと重なることが多く、昨年度に関しましてもおむすび作りや夜回りボランティアの確保が難しい場合が何度かございました。このため、今後活動日を第2・第4木曜日に移動することも各方面と調整しつつ検討してまいりたいと思っております。

## 7 会計報告と口座について

ホームページ上にて一時、振込口座変更のお知らせを掲載させていただきましたが、2006年度一杯は、昨年度に引き続き泉が会計として口座管理いたしますので、従来通りの郵便振替口座を利用させていただきます。

**郵便振込 口座番号:00130-6-759149 口座名称:山谷夜回りの会を支える会** でございます。

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をたまわりました。おむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会の皆さまからはバザーの売り上げから20万円のご寄付いただくなど、合計額では昨年度の2倍近くとなりました。おかげさまで、昨年度不足が指摘されておりました毛布、ズボン下など冬物を大幅に拡充させていただきました。どうもありがとうございます。

また、今年度の繰越金96,667円は、2006年度のおにぎり活動費や日用品購入費に充てさせていただきます。

以下に2005年度の会計報告を掲載させていただきます。

### 2005年度山谷夜回りの会会計報告

(2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位:円)

	科目	金額
1. 収入の部(A)	前年度繰越金	113593
	寄付金収入	678440
	合計	792033
2. 支出の部(B)	毛布代(730枚)	314500
	衣類・日用品代	332746
	寄付(町田教会おにぎり活動費)	30000
	通信費・印刷代	18120
	合計	695366
3. 次年度繰越金(A-B)		96667